



# 平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月9日

上場会社名 株式会社 ヤマダコーポレーション  
 コード番号 6392 URL <http://www.yamadacorp.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 昌太郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 村瀬 博樹

TEL 03-3777-5101

四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	7,628	13.1	1,150	75.8	1,159	103.9	761	106.8
29年3月期第3四半期	6,743	3.4	654	8.7	568	15.2	368	18.2

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 916百万円 ( %) 29年3月期第3四半期 358百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	318.08	
29年3月期第3四半期	153.82	

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	11,495	8,320	70.1
29年3月期	10,712	7,573	68.4

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 8,061百万円 29年3月期 7,323百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		6.00		7.50	13.50
30年3月期		6.50			
30年3月期(予想)				40.00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「-」として記載しております。株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は8円00銭となり、1株当たり年間配当金は14円50銭となります。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,900	7.4	1,400	62.3	1,400	67.8	900	67.0	375.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成30年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式併合の影響を考慮しております。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	2,400,000 株	29年3月期	2,400,000 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	5,672 株	29年3月期	5,603 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	2,394,364 株	29年3月期3Q	2,394,685 株

(注)当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっては、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式併合後の配当及び連結業績予想について)

当社は、平成29年6月29日開催の第92期定時株主総会において、株式併合について承認決議され、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。なお、株式併合考慮前に換算した平成30年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりとなります。

1. 平成30年3月期の配当予想

1株当たり配当金 第2四半期末 6円50銭(注1) 期末 8円00銭(注2)

2. 平成30年3月期の連結業績予想

1株当たり当期純利益 通期 75円18銭

(注1) 第2四半期末の配当は、株式併合実施前の株式数に対して支払いを行っております。

(注2) 株式併合考慮前に換算した配当額です。

(注3) 平成30年3月期の年間配当金(株式併合考慮前)は14円50銭となります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済の動向としては、米国では、在庫投資や外需による伸びが成長率を押し上げ、堅調に推移しました。欧州においては、個人消費が堅調に推移し、企業業績の好調や設備投資の回復など堅調が続いております。また、中国をはじめとする新興国は、緩やかに減速傾向にあります。概ね堅調な推移となりました。

こうした中、日本経済の動向は、世界的な製造業の好転を受けた輸出の増加による国内需要の持ち直しから、着実に景気回復基調が続いております。

当社グループにおいては、オートモティブ部門では、全自動フロンガス交換機及びルブリケーターが引き続き堅調に推移しました。また、インダストリアル部門でも、主力製品であるダイアフラムポンプを中心に増加傾向にあり好調な推移となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は7,628百万円(前年同期比884百万円、13.1%増)となりました。売上高を部門別にみますと、オートモティブ部門は2,136百万円(前年同期比272百万円、14.6%増)、インダストリアル部門は4,502百万円(前年同期比549百万円、13.9%増)となり、上記部門に属さないサービス部品や修理売上などのその他の部門の売上高は989百万円(前年同期比62百万円、6.7%増)となりました。

利益面では、売上総利益は3,277百万円(前年同期比647百万円、24.6%増)となり、営業利益は1,150百万円(前年同期比495百万円、75.8%増)、経常利益は1,159百万円(前年同期比590百万円、103.9%増)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は761百万円(前年同期比393百万円、106.8%増)となりました。

当第3四半期連結累計期間における報告セグメントの業績は次のとおりであります。

日本における外部顧客に対する売上高は4,066百万円(前年同期比282百万円、7.5%増)、営業利益は937百万円(前年同期比724百万円、338.9%増)となりました。米国における外部顧客に対する売上高は2,206百万円(前年同期比191百万円、9.5%増)、営業利益は250百万円(前年同期比26百万円、11.8%増)となりました。オランダにおける外部顧客に対する売上高は816百万円(前年同期比134百万円、19.8%増)、営業利益は60百万円(前年同期比△8百万円、12.4%減)となりました。中国における外部顧客に対する売上高は369百万円(前年同期比117百万円、46.8%増)、営業利益は17百万円(前年同期比△0.9百万円、5.0%減)となりました。なお、前第2四半期連結会計期間に新たに報告セグメントとしたタイにおける外部顧客に対する売上高は170百万円(前年同期は11百万円)、営業損失は3百万円(前年同期は営業損失13百万円)となりました。

また、当第3四半期連結累計期間の連結売上高に占める海外売上高は3,887百万円(前年同期比506百万円、15.0%増)で、その割合は51.0%となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債、純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は11,495百万円となり、前連結会計年度末に比べ783百万円の増加となりました。これは主に現金及び預金の増加(405百万円)、商品及び製品の増加(280百万円)、仕掛品の増加(104百万円)等によるものであります。

負債合計は3,175百万円となり、前連結会計年度末に比べ36百万円の増加となりました。これは主に支払手形及び買掛金の増加(91百万円)、未払法人税等の増加(82百万円)、長短借入金の減少(△103百万円)、退職給付に係る負債の減少(△14百万円)等によるものであります。

純資産合計は8,320百万円となり、前連結会計年度末に比べ746百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金の増加(593百万円)、為替換算調整勘定の増加(90百万円)等によるものであります。

この結果、自己資本比率は70.1%となりました。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は3,230百万円となり、前連結会計年度末に比べ405百万円の増加となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは727百万円の純収入(前年同期は640百万円の純収入)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益1,159百万円等の収入要因があったものの、たな卸資産の増加386百万円等の支出要因があったことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは77百万円の純支出(前年同期は156百万円の純支出)となりました。これは主に有形固定資産の取得による87百万円等の支出要因があったことによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは267百万円の純支出(前年同期は269百万円の純支出)となりました。これは主に長期借入金の返済による105百万円、配当金の支払による160百万円等の支出要因があったことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期通期の業績予想につきましては、第3四半期業績を勘案し、予想数値を修正いたしました。本日(平成30年2月9日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,855,687	3,260,953
受取手形及び売掛金	1,729,667	1,618,714
商品及び製品	1,426,811	1,706,898
仕掛品	319,481	424,094
原材料及び貯蔵品	501,211	552,670
繰延税金資産	151,170	168,359
その他	102,797	125,737
貸倒引当金	△5,175	△5,304
流動資産合計	7,081,652	7,852,124
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,486,085	1,445,875
土地	1,186,457	1,193,680
その他（純額）	469,812	436,334
有形固定資産合計	3,142,355	3,075,890
無形固定資産	64,135	62,897
投資その他の資産	424,109	504,782
固定資産合計	3,630,600	3,643,571
資産合計	10,712,253	11,495,695
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,299,488	1,390,911
短期借入金	103,076	105,024
1年内返済予定の長期借入金	142,368	338,332
未払法人税等	101,279	183,410
賞与引当金	133,363	35,260
未払費用	149,631	170,938
その他	97,209	136,267
流動負債合計	2,026,415	2,360,144
固定負債		
長期借入金	359,649	57,950
繰延税金負債	244,580	268,079
退職給付に係る負債	358,282	343,542
役員退職慰労引当金	41,499	42,699
資産除去債務	20,349	20,628
長期未払金	32,270	32,270
その他	55,676	49,971
固定負債合計	1,112,307	815,140
負債合計	3,138,722	3,175,285

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	600,000	600,000
資本剰余金	58,187	58,187
利益剰余金	6,540,441	7,134,432
自己株式	△6,364	△6,530
株主資本合計	7,192,264	7,786,089
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	111,896	166,226
為替換算調整勘定	19,484	109,519
その他の包括利益累計額合計	131,381	275,746
非支配株主持分	249,884	258,575
純資産合計	7,573,530	8,320,410
負債純資産合計	10,712,253	11,495,695

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	6,743,700	7,628,275
売上原価	4,113,898	4,350,600
売上総利益	2,629,801	3,277,674
販売費及び一般管理費	1,975,242	2,127,129
営業利益	654,559	1,150,545
営業外収益		
受取利息	781	819
受取配当金	11,050	10,572
負ののれん償却額	3,668	3,668
不動産賃貸料	24,857	24,270
その他	9,435	7,504
営業外収益合計	49,793	46,835
営業外費用		
支払利息	3,407	1,974
売上割引	9,731	10,894
為替差損	118,824	21,034
その他	3,607	3,988
営業外費用合計	135,570	37,892
経常利益	568,781	1,159,488
特別利益		
固定資産売却益	499	776
特別利益合計	499	776
特別損失		
固定資産処分損	6,206	426
役員退職慰労引当金繰入額	39,899	—
特別損失合計	46,105	426
税金等調整前四半期純利益	523,176	1,159,838
法人税、住民税及び事業税	156,128	405,653
法人税等調整額	23,544	△18,122
法人税等合計	179,673	387,531
四半期純利益	343,503	772,306
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△24,842	10,709
親会社株主に帰属する四半期純利益	368,346	761,597

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	343,503	772,306
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	27,921	54,329
為替換算調整勘定	△12,919	90,034
その他の包括利益合計	15,002	144,364
四半期包括利益	358,505	916,671
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	383,348	905,962
非支配株主に係る四半期包括利益	△24,842	10,709



（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自平成28年4月1日 至平成28年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自平成29年4月1日 至平成29年12月31日）
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	523,176	1,159,838
減価償却費	270,691	184,297
負ののれん償却額	△3,668	△3,668
固定資産売却損益（△は益）	5,706	△350
受取利息及び受取配当金	△11,831	△11,391
支払利息	3,407	1,974
売上債権の増減額（△は増加）	228,872	130,372
たな卸資産の増減額（△は増加）	△161,587	△386,829
仕入債務の増減額（△は減少）	△58,078	70,830
その他	△27,113	△103,125
小計	769,573	1,041,946
利息及び配当金の受取額	11,831	11,391
利息の支払額	△3,283	△1,866
法人税等の支払額	△137,410	△323,977
営業活動によるキャッシュ・フロー	640,711	727,495
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,006	△1,003
定期預金の払戻による収入	1,000	1,001
有形固定資産の取得による支出	△156,894	△87,062
有形固定資産の売却による収入	500	776
投資有価証券の取得による支出	△2,317	△2,301
投資不動産の賃貸による収入	24,857	24,270
その他	△22,841	△12,921
投資活動によるキャッシュ・フロー	△156,702	△77,241
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	259,000	145,024
短期借入金の返済による支出	△259,000	△143,076
長期借入金の返済による支出	△105,827	△105,735
配当金の支払額	△149,044	△160,016
非支配株主への配当金の支払額	—	△2,018
その他	△14,555	△2,122
財務活動によるキャッシュ・フロー	△269,426	△267,945
現金及び現金同等物に係る換算差額	△56,354	22,955
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	158,228	405,263
現金及び現金同等物の期首残高	2,521,907	2,824,961
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,680,135	3,230,225

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	日本	米国	オランダ	中国	タイ	
売上高						
外部顧客への売上高	3,784,529	2,014,792	681,096	251,478	11,802	6,743,700
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,454,200	54,064	7,194	—	—	1,515,459
計	5,238,729	2,068,856	688,291	251,478	11,802	8,259,159
セグメント利益又は損失(△)	213,710	224,235	68,664	18,322	△13,640	511,293

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	511,293
セグメント間取引消去	109,969
棚卸資産の調整額	33,296
四半期連結損益計算書の営業利益	654,559

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第2四半期連結会計期間に YAMADA (THAILAND) CO., LTD. を設立し、連結子会社としたことから、新たな報告セグメントとして、「タイ」を追加しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	日本	米国	オランダ	中国	タイ	
売上高						
外部顧客への売上高	4,066,577	2,206,244	816,063	369,143	170,245	7,628,275
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,189,277	70,053	8,427	—	—	2,267,758
計	6,255,855	2,276,298	824,490	369,143	170,245	9,896,034
セグメント利益又は損失(△)	937,981	250,733	60,125	17,399	△3,697	1,262,543

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,262,543
セグメント間取引消去	48,502
棚卸資産の調整額	△160,500
四半期連結損益計算書の営業利益	1,150,545